



# IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ 管理者ガイド

バージョン: 2025.2

日付: 2025-01-08

**TUNGSTEN**  
**AUTOMATION**

© 2013–2025 Tungsten Automation. All rights reserved.

Tungsten and Tungsten Automation are trademarks of Tungsten Automation Corporation, registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Tungsten Automation.

# 目次

はじめに.....	4
システム要件.....	4
前提条件.....	4
製品ドキュメント.....	6
オフライン ドキュメント.....	6
トレーニング.....	7
Tungsten Automation 製品のヘルプの入手.....	8
<b>第 1 章 : エクスポート コネクタのインストール.....</b>	<b>9</b>
アップグレード プロセス.....	9
Tungsten Capture または Tungsten Express を使用したエクスポート コネクタのインストール.....	10
言語の選択.....	10
Tungsten TotalAgility を使用したエクスポート コネクタのインストール.....	11
言語の選択.....	11
<b>第 2 章 : エクスポート コネクタのセットアップ.....</b>	<b>12</b>
Tungsten Capture を使用したエクスポート コネクタの設定.....	12
Tungsten TotalAgility を使用したエクスポート コネクタの設定.....	13
Tungsten Express を使用したエクスポート コネクタの設定.....	14
セットアップ オプション.....	15
<b>第 3 章 : エクスポート コネクタの削除.....</b>	<b>17</b>
Tungsten Capture からのエクスポート コネクタの削除.....	17
バッチ クラスからのエクスポート コネクタの削除.....	17
エクスポート コネクタ マネージャ からのエクスポート コネクタの削除.....	17
Tungsten TotalAgility からのエクスポート コネクタの削除.....	17
Tungsten Express からのエクスポート コネクタの削除.....	18
ジョブからのエクスポート コネクタの削除.....	18
エクスポート コネクタの登録の削除.....	18
コンピュータからのエクスポート コネクタの削除.....	18
エクスポート コネクタの修復.....	19

# はじめに

このガイドには、IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ 2025.2 を正常にインストールおよび構成するために必要な情報が含まれています。このエクスポート コネクタは、ドキュメント イメージ、OCR Full Text ファイル、Tungsten PDF ドキュメント、および eDocument を永続ストレージにコピーし、Tungsten Capture、Tungsten TotalAgility、または Tungsten Express (旧Kofax Express) から IBM Content Manager リポジトリにデータを書き込みます。

Tungsten Automation フルフィルメント サイトからこのエクスポート コネクタをダウンロードした場合は、ISO ファイルからファイルを抽出できます。

## システム要件

IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ のほとんどのソフトウェア要件 (Tungsten Capture、Tungsten TotalAgility、Tungsten Express (旧Kofax Express) のサポート対象バージョンを含む) は、『[技術仕様](#)』ドキュメントに記載されています。このドキュメントは、[IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ製品ドキュメント](#) ページから入手できます。この技術仕様ドキュメントは定期的に更新されます。エクスポート コネクタ製品を適切に使用するために内容をよくご確認ください。

## 前提条件

IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ 2025.2 を正常にインストールするには、次の手順に従って、環境がすべての前提条件を満たしていることを確認してください。

1. Tungsten Capture、Tungsten TotalAgility、または Tungsten Express (旧Kofax Express) といったすべての Tungsten アプリケーションとサービスを閉じます。
2. IBM Java v1.8 (32 ビット) をインストールします。
  - a. 次のリンクから Windows 用の Java 1.8 (32 ビット) をダウンロードします: <https://www.ibm.com/support/pages/java-sdk-downloads-eclipse>。
  - b. ダウンロードしたファイル名を短い名前に変更し、Java JDK をドライブのルートにあるフォルダ (C:\IBM\JVM\_80 など) に抽出します。JVM サブフォルダ構造が Windows の最大パス長を超えるため、長すぎるパスは使用しないでください。
  - c. JAVA\_32\_HOME という新しい環境変数を作成し、同様に C:\IBM\JVM\_80\eclipseDevelopmentPackage\ibm\_sdk80 などの Java JDK を指すように設定します。

**i** エクスポート サービスまたはエクスポート構成を実行するユーザー アカウントに Java JDK フォルダにアクセスする権限がない場合は、エクスポートまたは構成のプロセス中に「'icmnlsdb' に接続できません。jvm.dll をロードできません」というエラーが発生します。

この問題を解決するには、エクスポート サービスまたは構成を実行しているユーザー アカウントに、Java JDK フォルダへのフル コントロール権限を与えます。これは、フォルダを右クリックし、**[プロパティ]** を選択して、**[セキュリティ]** タブでアクセス許可を調整することで実行できます。

### 3. OEM ツールキットを構成します。

- a. 次のようなサーバー上の IBM CM Connector フォルダから **CMJavaOEMAPIToolkit.jar** をコピーします。

```
C:\Program Files (x86)\IBM\db2cmv8\lib\CMJavaOEMAPIToolkit.jar
```

```
C:\Program Files\IBM\db2cmv8\lib\CMJavaOEMAPIToolkit.jar
```

- b. **CMJavaOEMAPIToolkit.jar** を次のようなフォルダに解凍します。

```
C:\IBM\CMJavaOEMAPIToolkit
```

- c. 新しい環境変数 **IBM\_CM\_OEM** を作成し、次のように JAR を解凍したフォルダを指すように設定します。

```
C:\IBM\CMJavaOEMAPIToolkit
```

- d. サーバーの **cmbicmsrvs.ini** の内容をクライアント コンピュータにコピーします。

サーバーでは、**cmbicmsrvs.ini** は次のような IBM CM Connector のインストール フォルダに配置されています。

```
C:\Program Files (x86)\IBM\db2cmv8\cmgmt\connectors
```

```
C:\Program Files\IBM\db2cmv8\cmgmt\connectors
```

クライアント コンピュータでは、**cmbicmsrvs.ini** は次のような **CMJavaOEMAPIToolkit.jar** を解凍したフォルダに配置されています。

```
C:\IBM\CMJavaOEMAPIToolkit\cmgmt\connectors
```

### 4. ホスト ファイルを構成します。

- a. **CMJavaOEMAPIToolkit.jar** を解凍したフォルダ内の **cmbicmsrvs.ini** を開きます。
- b. テキスト **ICMHOSTNAME** を検索します。行全体は次のようになります。  
**ICMHOSTNAME=HOST\_NAME.**
- c. Windows ホスト ファイル内の対応するサーバー IP アドレスに **HOST\_NAME** をマップします。

環境が前提条件を満たしていることを確認したら、第 1 章に進み、インストールを実行します。

## 製品ドキュメント

IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ製品のドキュメント セットは、次の URL からオンラインで入手できます。<sup>1</sup>:

[https://docshield.tungstenautomation.com/Portal/Products/ja\\_JA/EC\\_IBMCM/2025.2-4kptszqff5/EC\\_IBMCM.htm](https://docshield.tungstenautomation.com/Portal/Products/ja_JA/EC_IBMCM/2025.2-4kptszqff5/EC_IBMCM.htm)

このガイドに加えて、完全なドキュメント セットには次の項目が含まれます。

*IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ リリース ノート*  
他の製品ドキュメントには含まれない最新の製品情報が含まれています。

*IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ の技術仕様*  
サポートされているオペレーティング システムおよびその他のシステム要件に関する情報が含まれています。

*IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ 管理者ガイド*  
エクスポート コネクタのインストール、構成、および保守を担当する管理者向けの情報が含まれています。

*IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ ヘルプ*  
IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ アプリケーションをセットアップするために必要な構成の設定について説明します。

## オフライン ドキュメント

ドキュメントをオフライン モードで使用できるようにするには、[Tungsten Automation フルフィルメント サイト](#)からダウンロードした IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ 2025.2 製品パッケージからドキュメント ファイルを取得します。製品パッケージには、オフラインで使用するための、次のドキュメント ファイルが含まれています。

- TungstenExportConnectorDocumentation\_2025.2\_ForIBMContentManager\_EN.zip  
製品ドキュメント セット全体 (英語版) が含まれています。
- TungstenExportConnectorDocumentation\_2025.2\_ForIBMContentManager\_JA.zip  
製品ドキュメント セット全体 (日本語版) が含まれています。

---

<sup>1</sup> 完全なドキュメント セットにオンラインでアクセスするには、インターネットに接続している必要があります。インターネットに接続せずにアクセスするには、「オフラインのドキュメント」を参照してください。

.zip ファイルには、言語ごとに 2 つのフォルダが含まれています。

- **print** フォルダ: 『IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ 管理者ガイド』が含まれています
- **help** フォルダ: 『IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ のヘルプ』が含まれています

1. IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ 2025.2 をインストールした後に、製品のインストール フォルダ内に **Documentation** という名前のフォルダを作成します。
2. 新しく作成した **Documentation** フォルダ内に、必要な言語の言語コード フォルダを作成します。
  - 英語の場合は、**EN** という名前のフォルダを作成します。
  - 日本語の場合は、**JA** という名前のフォルダを作成します。
3. 必要な言語のドキュメント ファイル (.zip) の内容を、次の場所に抽出します。

- Tungsten Capture の場合:


[ドライブ:]\Program Files (x86)\Tungsten\Capture\ServLib\Bin  
 \Tungsten.CMEE\Documentation\[言語コード フォルダ] または  
 [ドライブ:]\Program Files (x86)\Tungsten\CaptureSS\ServLib\Bin  
 \Tungsten.CMEE\Documentation\[言語コード フォルダ]

- Tungsten Express (旧Kofax Express) の場合:

[ドライブ:]\Program Files (x86)\Kofax\Kofax Express\bin\Tungsten.CMEE  
 \Documentation\<言語コード フォルダ>

- Tungsten TotalAgility の場合:

[ドライブ:]\Program Files (x86)\Tungsten\TotalAgility\ExportConnectors  
 \bin\Tungsten.CMEE\Documentation\[言語コード フォルダ]

 製品をアンインストールした場合、Documentation フォルダは自動的に削除されないため、手動で削除する必要があります。

4. IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ アプリケーションを起動し、ヘルプ アイコンをクリックして、別のブラウザ ウィンドウでヘルプを開きます。

PDF ドキュメントをオフラインで使用するには、**Documentation** フォルダまたはコンピュータの別の場所にドキュメントを保管します。**help** フォルダは常に **Documentation** フォルダ内に残しておく必要があります。これらの指示に従ってオフライン ドキュメントをインストールすると、アクティブなインターネット接続が存在している場合でも、製品ドキュメントのオフライン バージョンがデフォルトで使われるようになります。

## トレーニング


Tungsten Automation は、製品を最大限に活用するために役立つオンデマンドおよびインストラクタ主導のトレーニングを提供します。トレーニング コースとスケジュールの詳細については、[Tungsten Automation Learning Cloud \(Tungsten Automation ラーニング クラウド\)](#) を参照してください。



## Tungsten Automation 製品のヘルプの入手

[[Tungsten Automation Knowledge Portal \(ナレッジ ポータル\)](#)] リポジトリにある記事の内容は定期的に更新され、Tungsten Automation 製品の最新情報について参照できます。製品に関してご不明の点がある場合は、Knowledge Portal で情報を検索することをお勧めします。

Tungsten Automation Knowledge Portal にアクセスするには、<https://knowledge.tungstenautomation.com/> に移動します。

 [Tungsten Automation Knowledge Portal] は Google Chrome、Mozilla Firefox または Microsoft Edge 向けに最適化されています。

[Tungsten Automation Knowledge Portal] では以下の内容を確認することができます。

- 強力な検索機能で必要な情報をすぐに見つけることができます。  
[**Search (検索)**] ボックスに目的の語句を入力し、検索アイコンをクリックしてください。
- 製品情報、設定の詳細、リリース情報などのドキュメント。  
記事を検索するには、Knowledge Portal のホーム ページに移動し、製品に該当するソリューション ファミリーを選択するか、[View All Products (すべての製品を表示)] ボタンをクリックします。

Knowledge Portal のホーム ページからは、次の操作を実行できます。

- Tungsten Automation Community (Tungsten Automation コミュニティ) へのアクセス (全カスタマー)。  
[Resources (リソース)] メニューで、[**Community (コミュニティ)**] リンクをクリックします。
- Tungsten Automation Customer Portal (Kofax カスタマー ポータル) へのアクセス (一部のカスタマーのみ)。  
[[Support Portal Information \(サポート ポータル情報\)](#)] ページに移動し、[**Log in to the Customer Portal (カスタマー ポータルにログイン)**] をクリックします。
- Tungsten Automation Partner Portal (Tungsten Automation パートナー ポータル) へのアクセス (一部のパートナーのみ)。  
[[Support Portal Information \(サポート ポータル情報\)](#)] ページに移動し、[**Log in to the Partner Portal (パートナー ポータルにログイン)**] をクリックします。
- Tungsten Automation サポート コミットメント、ライフサイクル ポリシー、電子フルフィルメントの詳細、セルフサービス ツールへのアクセス。  
[[Support Details \(サポートの詳細\)](#)] 移動し、適切な記事を選択します。



## 第 1 章

# エクスポート コネクタのインストール

クライアントまたはスタンドアロン ワークステーションにエクスポート コネクタをインストールできます。

**i** エクスポート コネクタをインストールするには、Windows 管理者権限が必要です。管理者権限がない状態でこのエクスポート コネクタをインストールすると、エラー メッセージが表示される場合があります。また、エクスポート コネクタをインストールする前に、「[前提条件](#)」セクションに記載されている要件を満たす環境であることを確認してください。

## アップグレード プロセス

このバージョンのエクスポート コネクタは、次の既存のバージョンからの直接アップグレードをサポートしています。

- IBM Content Manager 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.2.0
- IBM Content Manager 用 Kofax エクスポート コネクタ 8.1.0

直接アップグレード中、インストーラは次の構成の設定を保持します。

- 既存のすべてのアプリ設定
- 既存のすべてのセキュリティ バインディング
- IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ 2025.2 に対して実行されるすべての HTTP URL の書き換え


**i** アップグレード プロセスを開始する前に、Tungsten TotalAgility、Tungsten Capture、Tungsten Express (旧Kofax Express) といったすべての Tungsten アプリケーションとサービスが停止し、データベースがバックアップされていることを確認してください。

アップグレード手順については、[Tungsten Capture または Tungsten Express を使用したエクスポート コネクタのインストール](#) または [Tungsten TotalAgility を使用したエクスポート コネクタのインストール](#) を参照してください。


## Tungsten Capture または Tungsten Express を使用したエクスポート コネクタのインストール

この手順を使用して、Tungsten Capture または Tungsten Express (旧Kofax Express) でエクスポート コネクタをインストールまたはアップグレードします。

1. 現在、このエクスポート コネクタの以前のバージョンを使用している場合は、[アップグレード プロセス](#) セクションを確認してから、手順 2 に進みを実行してください。
2. インストール メディアで、**[Setup.msi]** を見つけて実行します。
3. 画面の指示に従って、エクスポート コネクタをインストールします。  
インストール ウィザードが表示されます。
4. **[次へ]** をクリックし、画面の指示に従ってエクスポート コネクタをインストールします。
5. エクスポート コネクタを使用する予定のすべての管理ワークステーションまたはエクスポート ワークステーションで、インストール手順を繰り返します。  
エクスポート コネクタが自動的に Tungsten Capture または Tungsten Express に登録されます。

 Tungsten Capture および Tungsten Express (旧Kofax Express) を同じワークステーションで使用する予定がある場合、詳細については、『Express インストール ガイド』を参照してください。

6. Tungsten Capture または Tungsten Express のすべての Tungsten アプリケーションとサービスを再起動します。
7. エクスポート コネクタの設定を構成します。[エクスポート コネクタのセットアップ](#) を参照してください。

 Tungsten Capture の場合、エクスポート コネクタをアップグレードするには、バッチ クラスを再パブリッシュしてエクスポート コネクタのバージョンを更新してから、アップグレードを完了する必要があります。

### 言語の選択

次のいずれかの手順を使用して、エクスポート コネクタの言語を選択します。Tungsten Capture または Tungsten Express を再起動すると、選択した言語が有効になります。

- Tungsten Capture で、**[管理]** または **[Batch Manager]** モジュールを開き、**[オプション] > [言語]** を選択します。
- Tungsten Express で、**[オプション] > [全般] > [Express の言語]** を選択します。

## Tungsten TotalAgility を使用したエクスポート コネクタのインストール

この手順を使用して、Tungsten TotalAgility でエクスポート コネクタをインストールまたはアップグレードします。

**i** 手順を開始する前に、Tungsten TotalAgility でエクスポート アクティビティを含むプロセスが作成されていることを確認してください。エクスポート コネクタは、プロセス内のドキュメント タイプに関連付けられます。

1. 現在、このエクスポート コネクタの以前のバージョンを使用している場合は、[アップグレード プロセス](#) セクションを確認してから、手順 2 に進みを実行してください。
2. **[Tungsten TotalAgility]** のプログラム フォルダで、**[Tungsten エクスポート コネクタ]** を選択します。  
[Tungsten TotalAgility エクスポート コネクタの構成] ユーティリティが表示されます。
3. **[エクスポート コネクタの構成]** 画面で、**[管理]** をクリックします。
4. **[エクスポート コネクタ - 管理]** 画面で、**[追加]** アイコンをクリックして新しいエクスポート コネクタを追加します。  
**[エクスポート コネクタ - 追加]** ウィンドウが表示されます。
5. エクスポート コネクタのインストール ファイルに移動し、**[setup.msi]** を選択してから、**[開く]** をクリックします。  
エクスポート コネクタのインストーラが表示されます。
6. インストーラを実行します。
7. **[IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ 2025.2]** が **[エクスポート コネクタ - 管理]** 画面にリストされていることを確認し、**[閉じる]** をクリックします。
8. エクスポート コネクタの設定を構成します。[エクスポート コネクタの設定](#)を参照してください。

### 言語の選択

IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ の言語を変更するには、オペレーティング システムの言語を更新します。言語の変更は、Tungsten TotalAgility およびエクスポート コネクタを再起動すると有効になります。オペレーティングシステムの言語の変更に関する詳細については、Microsoft のドキュメントを参照してください。

**i** 選択した言語が IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ でサポートされていない場合は、英語が使用されます。

## 第 2 章

# エクスポート コネクタのセットアップ

この章では、[Tungsten Capture](#)、[Tungsten TotalAgility](#)、または [Tungsten Express](#) のエクスポート コネクタ - セットアップ ウィンドウにアクセスする手順について説明します。

IBM Content Manager へのエクスポートを実行するには、ログインしているユーザーが次の条件を満たしている必要があります。

- 有効な IBM Content Manager のユーザー名とパスワードを持つ
- フォルダを作成および変更する権限を持つ
- IBM Content Manager リポジトリに接続するための権限を持つ

サポートが必要な場合は、IBM Content Manager 管理者に問い合わせてください。

## Tungsten Capture を使用したエクスポート コネクタの設定

Tungsten Capture でドキュメント クラスをバッチ クラスに関連付けた後に、イメージ、Tungsten PDF ドキュメント、eDocument、およびインデックス データをエクスポートするためのエクスポート コネクタを設定します。

1. [Tungsten Capture または Tungsten Express を使用したエクスポート コネクタのインストール](#) の手順に従ってエクスポート コネクタをインストールします。
2. Tungsten Capture 管理モジュールを開始します。
3. **[定義]** パネルで、**[バッチ]** タブをクリックします。
4. バッチ クラスを選択して展開し、関連するドキュメント クラスを表示します。
5. 該当するドキュメント クラスを右クリックしてコンテキスト メニューを開き、**[エクスポート コネクタ]** をクリックします。  
**[エクスポート コネクタ]** ウィンドウが表示されます。
6. **[利用可能なエクスポート コネクタ]** リストで、**[IBM Content Manager]** を選択し、**[追加]** をクリックします。  
**[IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ - ログイン フォーム]** ウィンドウが表示されます。
7. IBM Content Manager のユーザー名とパスワードを入力します。パスワードでは大文字と小文字が区別されます。
8. IBM Content Manager ライブラリ サーバーを選択します。  
ログイン情報は、IBM Content Manager リポジトリへのログインに使用されます。この情報は保存され、エクスポート中に使用されます。

9. エクスポート時にエクスポート コネクタが IBM Content Manager にログインできない場合にユーザー ID とパスワードを要求するには、**[エクスポート中にログインできない場合は、有効なログイン情報を要求する]** チェック ボックスをオンにします。
    - 選択した場合、エクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生すると、エクスポート中に IBM Content Manager の **[ログイン情報]** ウィンドウが表示されます。次に、ユーザーは有効なユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。ただし、エクスポート プロセスは、ユーザーが **[キャンセル]** をクリックすると失敗します。Tungsten Capture を選択すると、バッチが Quality Control モジュールにルーティングされます。
    - 選択しない場合、およびエクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生した場合は、エクスポート中に IBM Content Manager の **[ログイン情報]** ウィンドウが表示されず、エクスポート プロセスが失敗します。Tungsten Capture を選択すると、バッチが Quality Control モジュールにルーティングされます。
- i** サービスとして **[エクスポート]** を実行する場合、または稼働時間外に **[エクスポート]** プロセスを実行する場合は、このチェック ボックスを選択しないでください。**[ログイン情報]** ウィンドウには、ユーザーによる入力 (またはオペレータによる操作) が必要です。
10. **[OK]** をクリックします。  
エクスポート コネクタ - セットアップ ウィンドウが表示されます。[セットアップ オプション](#) を参照してください。
  11. セットアップ ウィンドウで、各タブの設定を構成します。個々の設定の詳細については、任意のタブの **[ヘルプ]** をクリックしてください。
  12. セットアップ ウィンドウが完了した後に、**[OK]** をクリックします。

## Tungsten TotalAgility を使用したエクスポート コネクタの設定

1. [Tungsten TotalAgility を使用したエクスポート コネクタのインストール](#) の手順に従ってエクスポート コネクタがインストールされていることを確認します。
2. **[エクスポート コネクタの構成]** 画面で、**[セットアップ]** をクリックします。
3. **[エクスポート コネクタ - セットアップ]** 画面で、ドキュメント タイプを IBM Content Manager にエクスポートするために使用するプロセスを選択します。
4. 選択したプロセスに関連付けるドキュメント タイプを選択し、**[追加]** をクリックします。
5. **[コネクタ]** をクリックします。  
**[エクスポート コネクタ - <ドキュメント タイプ>]** 画面が表示されます。
6. **[利用可能なエクスポート コネクタ]** リストで、**[IBM Content Manager]** を選択し、**[追加]** をクリックします。  
選択した内容が**[割り当て済みエクスポート コネクタ]** リストに移動し、**[エクスポート コネクタ - セットアップ]** ウィンドウが表示されます。  
**[IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ - ログイン フォーム]** ウィンドウが表示されます。

7. IBM Content Manager のユーザー名とパスワードを入力します。パスワードでは大文字と小文字が区別されます。
  8. IBM Content Manager ライブラリ サーバーを選択します。  
ログイン情報は、IBM Content Manager リポジトリへのログインに使用されます。この情報は保存され、エクスポート中に使用されます。
  9. エクスポート時にエクスポート コネクタが IBM Content Manager にログインできない場合にユーザー ID とパスワードを要求するようになるには、**[エクスポート中にログインできない場合は、有効なログイン情報を要求する]** チェック ボックスをオンにします。
    - 選択した場合、エクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生すると、エクスポート中に IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ の **[ログイン情報]** ウィンドウが表示されます。次に、ユーザーは有効なユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。ただし、ユーザーが **[キャンセル]** をクリックすると、エクスポート プロセスは完了しません。
    - 選択しない場合、エクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生してもエクスポート中に IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ の **[ログイン情報]** ウィンドウは表示されず、エクスポート プロセスが失敗します。サービスとしてエクスポートを実行している場合は、このオプションを選択することをお勧めします。
- i** サービスとして **[エクスポート]** を実行する場合、または稼働時間外に **[エクスポート]** プロセスを実行する場合は、このチェック ボックスを選択しないでください。**[ログイン情報]** ウィンドウには、ユーザーによる入力 (またはオペレータによる操作) が必要です。
10. **セットアップ ウィンドウ**で、各タブの設定を構成します。個々の設定の詳細については、任意のタブの **[ヘルプ]** をクリックしてください。
  11. セットアップ ウィンドウが完了した後に、**[OK]** をクリックします。  
情報メッセージには、設定とカスタム プロパティに対する変更のリストが表示されます。
  12. **[OK]** をクリックして、情報メッセージをクリアします。

## Tungsten Express を使用したエクスポート コネクタの設定

1. **Tungsten Capture または Tungsten Express を使用したエクスポート コネクタのインストール**の手順に従って、エクスポート コネクタがインストールされていることを確認します。
2. Tungsten Express (旧Kofax Express) を起動します。
3. **[ジョブ設定]** タブの **[エクスポート]** グループの **[コネクタ]** リストで、**[IBM Content Manager]** を選択します。
4. セットアップ ツールをクリックします。  
**[IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ - ログイン フォーム]** ウィンドウが表示されます。
5. IBM Content Manager のユーザー名とパスワードを入力します。パスワードでは大文字と小文字が区別されます。
6. IBM Content Manager ライブラリ サーバーを選択します。



ログイン情報は、IBM Content Manager リポジトリへのログインに使用されます。この情報は保存され、エクスポート中に使用されます。

7. エクスポート時にエクスポート コネクタが IBM Content Manager にログインできない場合にユーザー ID とパスワードを要求するにするには、**[エクスポート中にログインできない場合は、有効なログイン情報を要求する]** チェック ボックスをオンにします。
  - 選択した場合、エクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生すると、エクスポート中に IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ の **[ログイン情報]** ウィンドウが表示されます。次に、ユーザーは有効なユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。ただし、エクスポート プロセスは、ユーザーが **[キャンセル]** をクリックすると完了しません。
  - 選択しない場合、エクスポート コネクタへのログイン時に問題が発生してもエクスポート中に IBM Content Manager 用 Tungsten エクスポート コネクタ の **[ログイン情報]** ウィンドウは表示されず、エクスポート プロセスが失敗します。サービスとしてエクスポートを実行している場合は、このオプションを選択することをお勧めします。

**i** サービスとして **[エクスポート]** を実行する場合、または稼働時間外に **[エクスポート]** プロセスを実行する場合は、このチェック ボックスを選択しないでください。**[ログイン情報]** ウィンドウには、ユーザーによる入力 (またはオペレータによる操作) が必要です。

8. **[OK]** をクリックします。  
エクスポート コネクタ - セットアップ ウィンドウが表示されます。[セットアップ オプション](#) を参照してください。
9. セットアップ ウィンドウで、各タブの設定を構成します。個々の設定の詳細については、任意のタブの **[ヘルプ]** をクリックしてください。
10. セットアップ ウィンドウが完了した後に、**[OK]** をクリックします。

## セットアップ オプション

エクスポート コネクタ設定ウィンドウを使用して、ドキュメント、フォルダ、およびその他の情報を IBM Content Manager リポジトリにエクスポートする方法を指定します。この表は、使用可能なセットアップ オプションをまとめたものです。個々の設定の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

場所	説明
[フォルダ設定] タブ	<p>IBM Content Manager システムにドキュメントを保存するために使用する新規または既存のフォルダを指定します。フォルダ階層内のフォルダに Content Manager 属性値を割り当てるために使用する Content Manager 項目タイプを指定できます。</p> <p>Content Manager で既存のフォルダを検索する場合に検索属性として使用する属性を指定したり、必要に応じて、各フォルダに動的項目タイプを割り当てたりすることもできます。</p>



場所	説明
[ドキュメント設定] タブ	IBM Content Manager エクスポートするドキュメントの項目タイプが一覧で表示されます。必要に応じて、各ドキュメントに動的項目タイプを割り当てることができます。
[ドキュメント ルーティング] タブ	エクスポートされたドキュメントをルーティングするか、現在のフォルダの親フォルダを IBM Content Manager プロセスにルーティングするかを指定するためのオプションが表示されます。  静的プロセスまたは動的プロセスを定義し、それらのプロセスに優先度を割り当てることができます。
[イメージ設定] タブ	エクスポートされたイメージの形式を指定します。
[一般設定] タブ	エクスポート時に使用する一時的な保存場所としてエクスポート作業フォルダを指定し、各ドキュメントの最初のページをスキップするかどうかの設定、およびその他の設定を行います。  また、エクスポートされたドキュメントに OCR Full Text ファイルを含めるかどうかを指定することもできます。

## 第3章

# エクスポート コネクタの削除

次の手順を使用して、エクスポート コネクタを [Tungsten Capture](#)、[Tungsten TotalAgility](#)、または [Tungsten Express](#) から削除した後に、コンピュータから削除します。また、必要に応じて、エクスポート コネクタを[修復](#)することもできます。

## Tungsten Capture からのエクスポート コネクタの削除

次の手順を使用して、Tungsten Capture およびコンピュータからエクスポート コネクタを削除します。

### バッチ クラスからのエクスポート コネクタの削除

1. Tungsten Capture **[管理]** モジュールの **[バッチ]** タブで、バッチ クラスを展開して、関連するドキュメント クラスを表示します。
2. 該当するドキュメント クラスを右クリックし、**[エクスポート コネクタ]** を選択します。
3. **[割り当て済みエクスポート コネクタ]** リストでエクスポート コネクタを選択し、**[削除]** をクリックします。

### エクスポート コネクタ マネージャ からのエクスポート コネクタの削除

1. Tungsten Capture **[管理]** モジュールで、**[エクスポート コネクタ マネージャ]** を開きます。
2. **[エクスポート コネクタ マネージャ]** ウィンドウでエクスポート コネクタを選択し、**[削除]** をクリックします。

## Tungsten TotalAgility からのエクスポート コネクタの削除

コンピュータからエクスポート コネクタを削除する前に、[Tungsten TotalAgility エクスポート コネクタの構成] ユーティリティを使用して、関連するドキュメント タイプとプロセスから割り当てを解除します。

1. [Tungsten TotalAgility] プログラム フォルダで、**[Tungsten エクスポート コネクタ]** を選択します。  
[Tungsten TotalAgility エクスポート コネクタの構成] ユーティリティが表示されます。
2. **[エクスポート コネクタの構成]** 画面で、**[セットアップ]** をクリックします。
3. 次の画面の **[割り当て済みエクスポート コネクタ]** リストで、エクスポート コネクタの名前を選択し、**[削除]** をクリックしてから、**[保存]** をクリックします。

ドキュメント タイプがエクスポート コネクタから割り当て解除されます。

4. **[エクスポート コネクタ - セットアップ]** 画面の **[プロセスを選択]** リストで、コネクタとともにエクスポートされたドキュメント タイプに関連付けられているプロセスを選択します。
5. **[割り当て済みのドキュメント タイプ]** リストで、選択したプロセスに割り当てられたドキュメント タイプを選択し、**[削除]**、**[保存]**、**[閉じる]** の順にクリックします。  
ドキュメント タイプからプロセスの割り当てが解除されます。
6. **[エクスポート コネクタの構成]** 画面で、**[管理]** をクリックします。
7. エクスポート コネクタ名を選択し、**[削除]** ボタンをクリックしてから、**[閉じる]** をクリックします。

## Tungsten Express からのエクスポート コネクタの削除

コンピュータからエクスポート コネクタを削除する前に、Tungsten Express (旧Kofax Express) からエクスポート コネクタを削除します。

### ジョブからのエクスポート コネクタの削除

1. **[ジョブ設定]** タブの **[エクスポート]** グループで、コネクタが未処理のジョブに関連付けられていないことを確認します。
2. 必要に応じて、未処理のジョブに別のコネクタを割り当てます。

### エクスポート コネクタの登録の削除

1. エクスポート コネクタを必要とするすべてのジョブの処理が完了したことを確認します。既存のジョブに割り当て済みのコネクタは登録解除できません。
2. メニューで、**[オプション]** をクリックします。  
**[オプション]** ウィンドウが表示されます。
3. **[オプション]** ウィンドウで、**[エクスポート コネクタ]** をクリックします。
4. **[エクスポート コネクタ]** リストで、登録を解除するコネクタの名前を選択し、**[削除]** をクリックします。  
**[エクスポート コネクタ]** リストが更新され、エクスポート コネクタが使用できなくなります。

## コンピュータからのエクスポート コネクタの削除

コンピュータからエクスポート コネクタを削除する前に、必要に応じて、[Tungsten Capture](#)、[Tungsten TotalAgility](#)、および [Tungsten Express](#) からエクスポート コネクタを必ず削除するようにしてください。

エクスポート コネクタを削除するには、**[コントロール パネル]** のオプションを使用するか、次の手順に従います。

1. エクスポート コネクタのインストールに使用した `.msi` ファイルを実行します。

既存のインストールが検出されると、**[プログラムの保守]** ウィンドウが表示されます。

2. **[削除]** を選択してから、**[次へ]** をクリックします。
3. 画面の指示に従って、エクスポート コネクタを削除します。  
削除が完了すると、エクスポート コネクタが正常に削除されたことを示すメッセージが表示されます。

## エクスポート コネクタの修復

修復プロセスを使用して、欠落したエクスポート コネクタ ファイルや名前変更または削除されたエクスポート コネクタ ファイルを置き換えることができます。

1. エクスポート コネクタのインストールに使用した `.msi` ファイルを実行します。  
既存のインストールが検出されると、**[プログラムの保守]** ウィンドウが表示されます。
2. **[修復]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
3. 画面の指示に従って、エクスポート コネクタを修復します。  
完了すると、エクスポート コネクタが正常に修復されたことを示すメッセージが表示されます。